



## 委員会等活動成果

### 国際関係委員会 欧州調査部会

#### “The Actuary”の記事紹介

##### Pick Up

英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2004年5月号から

2004年7月1日

### 旅行保険の現状と将来

#### The future of travel

旅行中の傷害・疾病や盗難などといったリスクに備える保険として、旅行保険が広く知られている。

The Actuary 5月号の記事では、英国における、テロ事件を契機とした旅行に対する消費者の意識の変化を踏まえつつ旅行保険の現状を説明するとともに、消費者ニーズを捉えた将来の旅行保険の可能性についてレポートしている。

#### ●新しい旅行観

2001年9月11日の米国同時多発テロを契機として、旅行者にとって世界は変わった。アフガニスタン、イラクでの戦争の影響により、旅行者は旅先について安全性に関する不安を抱くようになった。しかしながら、このような現状にあって、大抵の旅行保険は、テロ事件、戦争、自然災害といった事故を保障の対象としていないのが実情である。英国旅行業者連盟

(Association of British Travel Agents、ABTA) 加盟業者は、旅行者に対し、外務当局が旅行目的地を「渡航禁止地域」と指定した場合には、①旅行をキャンセルする ②旅行時期を変更する ③旅行業者から代金の全額返還を受ける、といった対応を統一的に行うことで旅行者の不安に添えているが、これらは保険の対象となっていない。

#### ●旅行様式の変化

また、消費者の旅行様式も変化しており、多様化する傾向にある。冒険旅行 (adventure travel)、エコツーリズム (ecotourism)、スポーツ旅行 (sport vacations) といった新しいタイプの旅行を、今までには旅行したことのないようなベトナムなどの遠方で経験しようとする。



これらテイラーメイドの旅行は、標準的パック旅行よりも高価となることから、旅行のキャンセル、旅行時期変更などによる必要保障水準が従来よりも高くなることを意味する。たとえば、冒険旅行やスポーツ旅行により傷害リスクは以前よりも格段に高くなるし、旅行先における医療水準が低いことから本国帰還治療が普及するだろう。それにより、旅行保険の経験率は、悪化していくだろう。

一方で、低コストの旅行プランを専門に扱うインターネット・サイトがブームとなっている。これに伴い、旅行保険についても、インターネットで最適の保険を自分で探す人が増えている。これらの消費者は価格に敏感であり、旅行中も高価な物品は所持しないし、旅行直前に計画を立てることからキャンセル率も低くなっている。このことから、インターネットチャネルでの経験率は相対的に低くなっている。

### ●旅行保険市場と将来の旅行保険商品

現在、市場に出回っている旅行保険は、「旅行先が全世界対象かつ年間型」が中心であるが、このところ、英国では、「旅行先が欧州対象限定かつ一旅行型」にシフトしている。このことから、市場における保険料規模は減少した。また、北アメリカへの旅行者による高額保険金請求の頻度は、他地域の2倍以上となっているし、旅行者の年齢が50歳を超えると、医療費の関係で経験率は若齢に比べて急激に増加する。

ニッチマーケティングにより、短期間の旅行や、米国以外への旅行、50歳未満限定など都合のよいリスクだけを対象とすることや、逆に標準的でない旅行者に相対的に高い保険料で保障を提供することなどの機会を得ることができようし、この流れは既に始まっている。

今後、我々アクチュアリーは、個々の契約特性に応じた価格設定を可能にしなければならないことから、旅行保険の全ての要素についての卓越したモデリング・スキルと見識を進歩させていくことが要求されるであろう。

原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会のHPをご覧ください。

<http://www.the-actuary.org.uk/>

"The future of travel"